

平成30年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 教授

氏名： 太田 茂

	研究課題	①刑事司法制度全般に関する調査研究 ②日中和平工作史に関する研究
報告の概要	研究目的及び研究概要	①は、刑事訴訟法等に関する重要・新規の問題点をフォローし、授業内容の充実と研究を促進することを目的とする。当学部は、将来警察官等治安の分野を担う人材を養成することが大きな柱の一つであるため、当職が担当する刑事訴訟法の分野では、様々な学説判例と実務の運用の両面から、生起する様々な事案・事件についての研究を踏まえた教育を行う必要がある。②は、第二次大戦中の日中の和平工作史についてかねてから行っている研究を促進する。日中戦争勃発以来、トラウトマン工作、桐工作など様々な日中の和平工作が進められてきた。1944年後半から終戦に至るまでの和平工作については、繆斌工作、近衛文麿と実弟の水谷川忠麿、中山優らによるもの、スイス駐在武官藤村義朗とダレスの間で進められていたものなど、いくつかの有力なルートがあったが、それらは今日もなお十分解明されず評価が定まっていない。それらの工作が結局成功しなかったのは、連合国側特に蒋介石に関する情報とその的確な評価が、軍や政府の中枢に欠けていたことあり、これは今日においても国家の危機管理の在り方に大きな示唆を与えるものである。当職はこれらについて広く大きな視点からの研究を続けている。
	研究成果	①については、その具体的成果として、当学部学生全員の必須科目である社会安全と法(刑事法入門)の教科書として下記「刑事法入門」を出版した。入門書ではあっても、刑法と刑事訴訟法等の実体法と手続法の全体を鳥瞰し、かつ最新の理論と実務を踏まえつつ充実した授業をするとともに自身の研究を深めることを目的としたものである。②については継続的な研究であり、成果物を得るのは2～3年後を想定しているが、着実に研究は進んでいる。
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	著書 太田茂・上野幸彦著「刑事法入門」 成文堂 2018年10月発行(231頁)
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	特になし
	・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等	①法務省犯罪白書研究会委員として、平成29年度犯罪白書の企画の指導助言を行った。②法務省刑事政策研究会委員として、法務省及び読売新聞共催による、刑事政策に関する懸賞論文の審査業務に従事した。③同志社大学大学院生命医科学特論特別講義の嘱託講師として、平成30年11月に出張講義を行った。④全日本剣道連盟綱紀委員会委員として、綱紀案件の審査業務に従事し、綱紀委員会規則改正を援助した。⑤株式会社JALUXほか1社の独立社外取締役として、コンプライアンス規則・マニュアル等の整備充実などの企業の危機管理業務を支援した。